

Vol.192

2025.10

地域とともに、生きる・守る

扇山

OHGIYAMA

別府駐屯地広報誌

別府駐屯地をより身近に感じていただき、活動を知っていただけるよう、広報誌を作成しています。あわせてホームページやX(旧Twitter)でも情報を発信しています。ぜひご覧ください！



■発行責任所■
別府市自衛隊協力会
■印刷■
株式会社電子印刷センター

令和7年度 山の納涼音頭大会

笑顔の輪が広がる、真夏の音頭



3面

別府駐屯地所属部隊 投稿記事

駐屯地の運営や部隊を支える後方部隊など様々な方面で活躍する部隊の投稿記事を紹介します！



2面

令和7年度 連隊射撃競技会

第41普通科連隊は、各中隊の代表者を選抜し、射撃競技会を実施しました。様々な火器にカテゴリー分けされ、プロフェッショナルとしての誇りをかけて、競い合いました！



2面

生活環境改善・魅力化 進んでいます！

全国の駐屯地・基地等に建設されている隊舎・庁舎の老朽化に伴い、現在建替・改修が行われています。別府駐屯地内に居住する隊員の部屋



も快適に過ごせるように改修中です。別府駐屯地で勤務をしている防衛技官の方にお話を伺いました！

←-----NEXT PAGE

様々な記事をご用意しています!!

令和7年度 山の納涼音頭大会



別府駐屯地は、令和7年8月3日(日)に山の納涼音頭大会を開催しました。前座にあたる「音楽祭り」では、第41普通科連隊音楽部、湯布院駐屯地音楽部が夏にふさわしい楽曲を合同演奏し、爽やかな旋律で会場を包みました。また別府市を中心に活動しているチアダンスチーム「PONY-Z」にも参加していただき、リズムに合わせて弾むような笑顔が広がり、観客からは拍手と歓声が上がりました。

音頭大会では、近傍自治会が町内ごとにおそろいの浴衣や法被を着て、「ヤッチキ」などを華やかに踊っていました。その後、恒例となっている駐屯地隊員による創作ダンスでは、工夫を凝らしたパフォーマンスを披露し、会場を盛り上げていました。その後は来場者、自治会住民、駐屯地隊員が、やぐらを中心に大きな輪を作り、総踊りを行い、締めくくりに花火で惜しまれながらも終了となりました。

会場では、売店やキッチンカーが多数出店しており、祭りの雰囲気を楽しんでいた様子でした。

隊員は、地域住民の方との親睦を深めることも、家族との楽しいひと時を過ごしていました。今年も大盛況となり、過去最多数の約4,950名の来場者となりました。



生活環境 改善・魅力化 進んでいます

九州の駐屯地で先駆けとなった生活環境の改善

別府駐屯地は、九州に所在する陸上自衛隊の駐屯地として、初となる駐屯地内で生活をしている隊員の部屋(以下「宮内居室」といふ)の生活環境改善を目的とした工事が行われました。現状では複数の隊員が同一の部屋で居住するなど、プライバシーに配慮した生活環境とはなっていない状態でした。また経年による老朽化が進み、壁の塗装等が剥がれていました。この度の工事により、部屋の個室化や居室の備品を改善しました。

毎日がちよっと良くなる 駐屯地を目指して



宮内の居室の改善に当たり、駐屯地のインフラ関係の管理者として勤めている林田元汰防衛技官にお話を聞きました。林田防衛技官は「宮内居室で生活をする隊員の立場になって、どのような改善をすれば、より良い生活が送れるのか」ということを重点に置いて考えました。また、大分県別府市は多湿の環境ということで、カビに対して強い耐久性を持つ塗装を使用するなど、地域の特性も踏まえました。隊員は訓練で疲れていると思うので、せめて宮内居室ではリラックスできる環境であってほしいです」と笑顔で語っていました。このほかにも金属製であったロッカーや棚などを木製へと変更し、清潔感のある環境へと変更しました。今後も駐屯地はより良い生活環境の改善に努めていきます。

Good!

新調された複合機ラックは清潔感溢れ、収納の自由度が高く機能的。使用者からも好評である。



壁には防カビ仕様の塗装、照明灯についてもLEDへ変更。新たに複合機ラックを導入。更には間仕切りを設置しプライバシーを確保しました。



今回お話を頂いたのは

防衛技官 林田 元汰さん

学生時代からサッカーを続けており、現在も社会人チームに所属している。趣味はドライブとグルメ巡り。別府に住んでは温泉とサウナにハマっている。



優勝部隊

81mm迫撃砲の部

第4中隊



小火器の部

第1中隊



狙撃銃の部

第3中隊



狙撃は一発で状況を変える精密射撃です。わずかな呼吸や心拍の乱れさえも射撃に影響します。



重装備をものともせず、激走をする隊員。しかしながら、小銃はぶれることなく安全管理を徹底しています。



81mm迫撃砲の轟音とともに広がる爆炎に勝つことなく、任務に邁進しています。



炊事の食事は隊員の士気を上げます。鍋から立ち上がる湯気は隊員達を支える見えない力です。

令和7年度 連隊射撃競技会

第41普通科連隊は、81mm迫撃砲の部、小火器(小銃や機関銃等)の部、狙撃銃の部に分けて令和7年度連隊射撃競技会を実施しました。

隊員は各部門の専門的な知識・技能を豊富に兼ね備えており、その中から選抜された隊員が競技会に参加しました。参加隊員は迅速・正確な射撃を実施しつつ、安全管理事項も徹底して、プロフェッショナル精神を体現していました。

また本競技会を実施する裏では、炊事班が隊員をバックアップする姿がありました。炊事班が作る料理は、炎天下の中、訓練に臨む隊員の体力と士気を支えていました。

本競技会を通じて、射撃技術の向上はもちろん、部隊全体の団結や信頼関係の強化という成果も得られました。

別府駐屯地業務隊

生活習慣病検診

業務隊(衛生科)は、令和7年7月に生活習慣病検診を実施しました。

生活習慣病検診の目的は、まだ自覚症状がない段階で潜在している病気を発見、将来生活習慣病になりやすいリスクがあるかどうかを確認し、その後の適切な対応につなげることです。検診で早期発見された生活習慣病は、生活習慣の改善や適切な薬物治療により、進行を食い止めたり、改善させたりすることが可能です。

知らないことほどごわいことはありません。別府医務室では、総合内科専門医が診察をしており、年間を通じて隊員の健康管理を全力でサポートしています。



自衛官が任務を遂行するにあたって、健康は重要視されています。早期の発見、治療のために健康管理に力を入れています。

第404会計隊

西部方面会計隊長訓練検閲

会計隊は、令和7年8月20日(水)から2夜3日に渡る西部方面会計隊長訓練検閲を受閲しました。

要望事項は「基本基礎の徹底」、「安全管理の徹底」であり、我が第404会計は日頃の錬成の成果を示すべく、隊長を確信として、全隊員が一丸となり臨みました。今回の検閲を通じて、強みと弱点を明確にすることができました。今後は、指導を受けた点や課題を真摯に受け止め、基本基礎の徹底、安全管理の徹底、能力向上を図るとともに、精強な部隊として任務を全うできるよう努力していきます。



訓練検閲受閲に先立ち、任務の理解度の確認や装備品の点検のための隊容検査を実施しました。訓練に臨む隊員の士気は旺盛でした。

第3普通科直接支援中隊

第2回中隊錬成訓練

令和7年7月16日(水)から7月19日(土)までの間、大野原演習場にて第2回中隊錬成訓練を実施しました。

炎天下の中、汗だくになりながら野整備支援として、車両等の整備や回収業務を全員、暑さに負けずに事故なく無事に任務遂行できて中隊として練度向上ができました。

次は、寒さに負けずに11月の中隊検閲に向け、中隊一丸となって頑張り続けます。



中隊指揮所を作成している様子です、ドーザを使用し効率的に作業を進め、熱中症対策も忘れずに頑張りました。

自衛隊大分地方協力本部 援護課 大分地域援護センター

令和7年度任期制隊員等合同企業説明会

大分地域援護センターは、令和7年9月26日(金)、レントンホテル大分にて令和7年度任期制隊員等合同企業説明会を実施しました。

陸海空の任期制隊員10名、定年制20名、研修者6名及び、参加者がそれぞれ3つずつ希望した企業52社が参加し、企業と業務内容等について、終始熱心に定められた時間一杯を使って質問をしていました。

今後、隊員と企業のマッチングを行い、就職を希望する企業との面接を経て、再就職先を決定していきます。



WEB面談ブースを設け、会場に来れなかった企業との面談が可能になり、効率的かつ柔軟な再就職支援が行われるようになりました。

第134地区警務隊 別府派遣隊

第4次警務隊集合訓練

別府派遣隊は、令和7年7月22日(火)から25日(金)まで、十文字演習場で実施された第4次地区警務隊集合訓練に参加しました。

警務哨所の開設、有事における交通事故処理及び誤射事案の捜査について演練し、特に誤射事案に伴う状況下における実況見分については、実況見分結果に基づく擬律判断及び証拠品の立証処置を実施し、有事における捜査能力の向上を図ることができました。



遺留物の採取は、手掛かりとなる証拠品として最重要となります。細心の注意を払って採取します。

第304基地通信中隊 別府派遣隊

家族交流

別府派遣隊は令和7年度山の納涼音頭大会に参加して所属する隊員家族、OBを招待し交流を図りました。

夏休みということもあって子供たちの参加も多く、父や母が勤務している場所に入れることもあり子供たちは大はしゃぎです。キッチンカーに並ぶ人踊りに飛び入り参加する人、オードブルを囲みワイワイする人と家族間の団結を改めて感じることができました。

最後の花火は今年初めて見る人も多く夏休みのいい思い出となりました。



子供達の走り回る姿と笑い声に包まれ、賑やかな時間を過ごすことができました。今後の成長が楽しみです。